

世界の「AI0IYAMA」プロジェクト意見交換会（第1回）の開催結果

1. 日 時：平成31年1月31日（木）17時30分～19時40分
2. 場 所：第8会議室（名古屋市役所西庁舎3階）
3. 団体名：相生山の四季を歩く会、ラブリーアース Japan
4. 市出席者：緑政土木局企画経理課 加藤主幹（企画）・上杉主査（企画）
道路維持課 水谷主査（安全対策）、
道路建設課 可児主査（事業調整）、
緑地事業課 平泉主査（防災公園整備）
5. 参加者：17名
6. 当日の次第
 - （1）開会のあいさつ
 - （2）資料説明
 - ・12/16 説明会の結果報告について【資料①】
 - ・12/16 説明会資料について【資料②】
 - ・意見交換したいテーマについて（上記団体所属者から提出されたもの）【資料③】
 - （3）今後の意見交換会の進め方
 - （4）閉会のあいさつ
7. 今後の意見交換の進め方に対する主なご意見・ご要望
 - ・地元の高齢者のほとんど人は造った時にはすでに死んでいる。なので無関心の人が多い。若い人は仕事で忙しい。いつの間にか公園ができてしまったというわけではなくて、地元の人にこういう状態ということが行き渡るように意見交換を進めてほしい。
 - ・相生山の中に住んでいる人達や地主も一緒になって意見交換をしてほしい。
 - ・意見の違う方や、生態系、自然科学の専門家とかを交えて意見交換をしないといけないと思う。
 - ・意見交換会は現地を見ながらやってほしい。
 - ・全体で意見交換をやるのが難しいとすれば相手方の意見がどのようなことを言っているのかを補完できるようなシステムがほしい。
 - ・町内会長と組長ぐらいは事務的に出席するような形にしてほしい。
 - ・場所も区役所とか出やすいところにしてほしい。

8. 世界の「AIOIYAMA」プロジェクトに関する主なご意見・ご要望

- ・何もかもが中途半端にならないようにしてほしい。
- ・説明会での説明は私が思っていることと正反対なので、理解できていないのではなく納得できない。
- ・役所の方は市長の表明通りに計画を立てたという印象。
- ・職員の皆様も一度相生山を歩いてもらいたい。
- ・今のままの相生山の里山の風景を残して欲しい。
- ・世界の AIOIYAMA という看板を掲げるのであれば、自然が残っているものを保全するのか、それとも壊して全く違うものにするのかは、行政のビジョンとして、理念が必要だと思う。
- ・周辺道路も広くなって、地下鉄もできたのに、園路と名は変わっているが、50年前の計画を進めようという理由がわからない。
- ・緑地環境の保全を謳っているながら、天白公園というデイキャンプもできるような公園があるのにも関わらず、同じような公園にするのかがよくわからない。
- ・この計画は朽ち果てれば良いと思う。
- ・何か計画を進めるなら今ある畑を買い戻して、元に戻してほしい。
- ・1回決めたらやらないといけないのではなく、白紙に戻すという選択があってもいいのではないかと思う。
- ・管理用の園路は必要だということはわかるが、遊んでいる人達がいる中で、緊急車両が通る必要があるのか。とても怖い気がする。
- ・相生山を見れば、時代が変わっても自然に対する考え方が普遍的なものであることがわかる緑地になってほしい。
- ・簡単に着地点を見いだせるものだと思っても、根本的な問題が解決しないことには見いだせなくなることもあると思う。
- ・市からは意見を求められているが、市の考えを示すのも大事ではないかと思う。
- ・提案する案を持って情熱を持って提案してほしい。
- ・人間がいいと思ってやったことであっても、自然界にとっては非常に大きなダメージを与えることがあるということを考えてほしい。